

ふくおかの経済

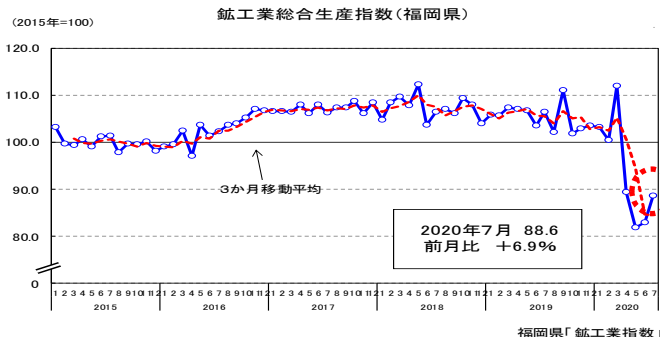
令和2年9月号



生産

持ち直しの動きがみられる。

7月の生産指数は、輸送機械工業などの上昇により2か月連続で前月を上回っています。

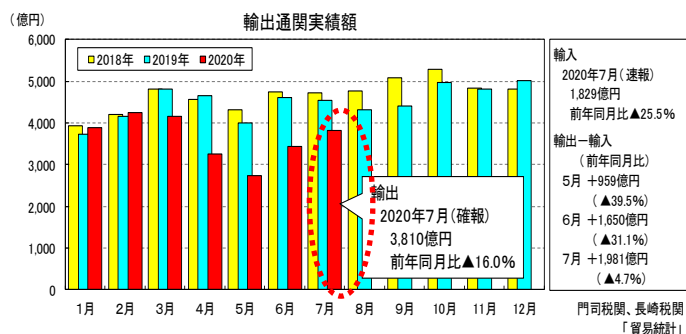


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、持ち直している。
輸入は、おおむね横ばいとなっている。

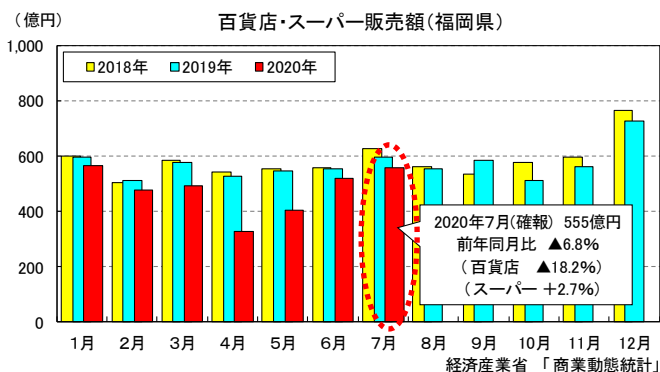
7月の輸出は、自動車などの減少により5か月連続で前年を下回ったものの、前年同月比の減少幅は6月から縮小しました。



消費

一部に足踏みがみられるものの、持ち直している。

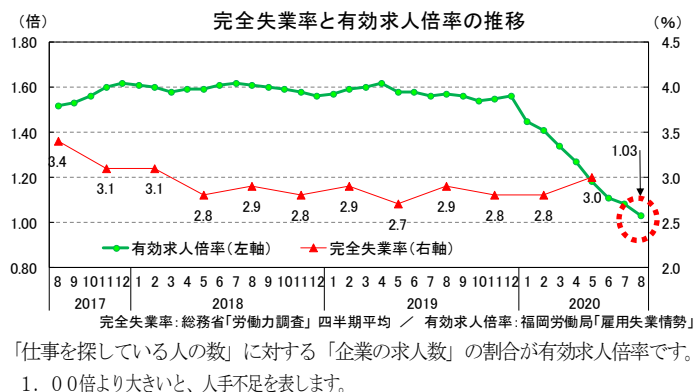
7月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、10か月連続で前年を下回りました。



雇用

求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少するとともに、求職が増加している。

8月の有効求人倍率は1.03倍で、前月を0.05ポイント下回りました。



今月のトピック 福岡県内の賃貸住宅の空室率は上昇しているのか?

○全国的に、増え続ける「空き家」が問題となっています。今回は、住宅のうち、賃貸住宅に着目し、その「空き家」を表す空室率を調べてみました。福岡県内の賃貸住宅の空室率は上昇しているのでしょうか?

○都道府県別の賃貸住宅の空室率を推計したところ、福岡県は全国で5番目に低いことが分かりました(図表1)。県全体の空室率は、2013年と2018年で比べるとやや低下しています(図表2)。

○空室率をさらに県内4地域別にみると、福岡地域では低下しているものの、他の3地域では上昇しています。福岡地域は県内4地域の中で、唯一人口が増加しつづけており、特に賃貸住宅に住む世帯数が他地域と比べて大きく増加していることが、県全体の賃貸住宅の空室率の低下に寄与していると考えられます。

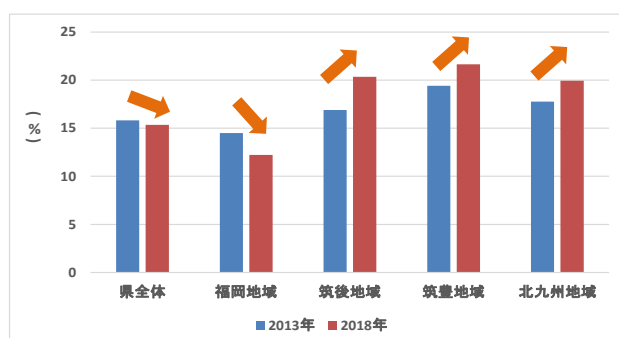
図表1

賃貸住宅の都道府県別の空室率(昇順)

1	沖縄県	11.29 %
2	熊本県	14.68 %
3	島根県	14.76 %
4	東京都	14.76 %
5	福岡県	15.35 %
.....		
45	群馬県	27.00 %
46	栃木県	27.86 %
47	山梨県	28.76 %

図表2

県全体と4地域別の賃貸住宅の空室率



資料: 総務省統計局「住宅土地統計調査」の数値を利用して算出

※各地域の空室率・賃貸住宅数は、市と人口1万5000人以上の町村のデータをもとに算出